

平成 29 年度第 1 回岩手県森林審議会林地保全部会議事録

- 1 開催日時 平成 29 年 8 月 29 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00
- 2 開催場所 アイーナ (いわて県民情報交流センター) 会議室 501
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 会議次第 別紙のとおり
- 5 議事録 下記のとおり

発言者	発言内容
事務局	<p>ただ今から、平成 29 年度第 1 回岩手県森林審議会林地保全部会を開催いたします。「部会運営規程第 3 条の 3」では、会議は部会委員の過半数をもって成立することとなっております。当部会の委員総数は 5 名であり、本日、全委員が出席いただいておりますので、会議が成立していることを御報告いたします。</p> <p>また、有識者の立場で富士大学の岡田学長のご意見をいただきたく出席をお願いし、出席していただくこととなっておりますが、先日、出席できなくなったとの連絡があり、本日は欠席となりましたことをお知らせします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして岩手県農林水産部林務担当技監から御挨拶を申し上げます。</p>
阿部林務担当技監	<p>本日は、ご多用の中、森林審議会林地保全部会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様には、日頃より、本県森林・林業行政の推進に、御支援、御協力を賜り、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、東日本大震災津波の発生から 6 年余りが経過しました。</p> <p>今年度は、第 3 期復興実施計画の初年度として、復興事業の総仕上げを視野に、復興の先も見据えた地域振興にも取り組む重要な年と位置付けており、三陸らしい個性豊かで競争力のある産業の構築を目指し、持続可能な地域産業の育成に取り組んでおります。</p> <p>また、昨年の台風 10 号からの復旧並びに、本年 5 月 8 日に発生した釜石市の林野火災跡地の一日も早い復旧に向けて、県では、市町村や関係機関と連携し、全力で復旧に取り組んでおります。</p> <p>こうした、施策を進めながら、本県林業の持続的な発展を図るとともに、森林の有する多面的機能を将来にわたって、発揮・保全させていくためには、森林の適正な利用を確保していくことが重要となっております。</p> <p>本日は、住田町の土石の採掘に係る林地開発の変更許可 1 件と山田町の太陽光発電施設設置に係る林地開発許可 1 件について、御審議頂きます。</p> <p>委員の皆様には、昨今の異常気象による大規模災害が各地で発生する中、森林の秩序ある開発の実現や開発による災害防止の観点から、忌憚のない御意見を賜りますよう、御願い申し上げます、開会にあたっての御挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>次に、本日の出席者を御紹介させていただきます。</p> <p>部会長の下館祥二様です。部会委員の佐藤礼子様です。同じく川村冬子様です。同じく郷右近勤様です。同じく猪内次郎様です。</p> <p>続きまして、事務局の主な出席者を紹介させていただきます。</p> <p>林務担当技監の阿部です。森林保全課総括課長の漆原です。森林保全課の主任主査の佐々木です。主査の白藤です。</p> <p>最後になりますが、私は、本日の司会を務める田屋です。</p> <p>次に議事に入りますが、「部会運営規程第 3 条の 2」の規定により、議長を林地保全部会長にお願いいたします。</p>

下館林地保全部会長	<p>それでは暫時、議長として議事の進行にあたらせていただきますので、よろしく御協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに、次第3の報告事項の「10ha 未満の林地開発許可について」事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>それでは、「10ha 未満の林地開発許可について」報告いたします。資料NO.1 を御覧ください。</p> <p>(資料NO.1 により報告)</p>
下館林地保全部会長	<p>ただいまの事務局からの報告につきまして、御質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>無いようですので、次第4の審議に入りたいと思います。</p> <p>審議に入ります前に、本日の審議事項について、公開いたしますが、審議の過程において公開されていない事務、事業に関する情報の説明等が必要となった場合は、その時だけ非公開とさせていただきたいことをお断りしておきます。</p> <p>それでは、これより審議に入ります。</p> <p>平成29年7月26日付けで岩手県知事から意見を求められました審議事項2件について次第に基づき、事務局から説明を願います。</p>
事務局	<p>それでは、「気仙郡住田町世田米字大平地内の土石の採掘（石灰岩）に係る林地開発許可について」の概要について説明いたします。資料NO.2 を御覧ください。</p> <p>(資料NO.2 により説明)</p>
下館林地保全部会長	<p>説明が終わりました。御質問、御意見がありましたらお願い致します。</p>
猪内委員	<p>今回変更の主な理由を教えてくださいと、区域拡大する箇所は、場所によっては急な所もあったようですが、その内容も含めてご説明いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今回の変更の主な理由を説明します。</p> <p>昨年の第1回森林審議会におきまして、今回の開発行為者は袋下山（ほろしやま）地区の鉱山の変更申請し、県は許可したところですが、開発行為者は袋下山（ほろしやま）の地区の鉱山が本格的に採掘するまで、大平地区と坂本沢地区の2鉱山で採掘計画に基づいた採掘量を確保するとのことです。</p> <p>しかしながら、現在の事業区域では、採掘量を確保することができないことから、大平地区の事業区域を変更許可申請したうえで、拡大して採掘量を確保したいとのことです。</p> <p>今回、事業区域を拡大するところは、場所によっては、急なところもありますが、森林法で定められている許可基準に適合した計画勾配で切土、盛土されるとともに、土石の採掘は、森林の一時転用であることから、開発終了後は森林に戻すということでございますので、最終的には問題はありません。</p>
下館林地保全部会長	<p>袋下山（ほろしやま）の位置関係を教えてください。</p>
事務局	<p>今回の大平地区の北側です。</p>
川村委員	<p>この先どれくらいまで事業を続けていく予定でしょうか。</p>
事務局	<p>大平地区の鉱山につきましては、袋下山（ほろしやま）地区の鉱山が本格採掘する平成35年までの採掘し、その後は、植栽や緑化等を行い、森林に戻す計画です。</p>
下館林地保全部会長	<p>そのほかご質問、ご意見は、ございませんか。</p> <p>それでは、お諮りいたします。</p> <p>原案のとおりの内容で許可することについて、ご異議ございませんか。</p>
委員全員	<p>異議なし</p>
下館林地保全部会長	<p>ご異議なしとのことから、原案のとおりの内容で許可するようお願いいたします。</p> <p>次に審議事項2件目について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>それでは、「下閉伊郡山田町豊間根第11地割地内の工場・事業場の設置（太陽光発電施設）」</p>

	設)に係る林地開発許可について」の概要について説明いたします。資料 NO. 3を御覧ください。 (資料No.3により説明)
下館林地保全部会長	説明が終わりました。皆さんからの御質問・ご意見をお伺いします。
郷右近委員	エコプレクス山田プロジェクト株式会社の概要を説明していただきたいことと、事業費が68億、そのうち林地開発費用が19億5千万。午前中の現地調査では、参考事例として太陽光発電施設を見させていただき、その際に説明していただいた林地開発費用に比べて金額が高くなっており、これは、現地調査地は伐採跡地の開発で伐採経費が必要ないことから、そのことも理由にあるかと思いますが、林地開発経費についての説明をよろしく御願います。
事務局	エコプレクス山田プロジェクト株式会社は今回の太陽光発電事業のために設立された会社です。 所在地は、東京都渋谷区千駄ヶ谷二丁目28番4。株主は「エコプレクスジャパン株式会社」で85%出資と「Misaki Solar合同会社」で15%出資となっております。 また、株主である「エコプレクスジャパン株式会社」の概要を説明すると、アメリカのサンフランシスコを本拠地としている「エコプレクス」という会社の日本法人であります。 「エコプレクスジャパン株式会社」は、日本において9カ所で、11メガワットの太陽光発電施設の運営実績です。 本社の「エコプレクス」は、全世界で400メガワットの太陽光発電施設を開発しています。 次に、現地調査地の林地開発経費に比べ、今回の林地開発費用が高いことについて説明すると、委員がお話していただいた伐採経費もその理由でありますし、現地調査地の林地開発面積より、今回の申請の林地開発面積が大きいということに加えて、現地調査地の土工量はさほど多い量ではないのですが、今回の林地開発計画は切土、盛土とも約200万㎡の多量の土工量であることも、経費が多額となった要因といえます。
川村委員	土地所有者は誰ですか。
事務局	土地所有者は、開発行為者のエコプレクス山田プロジェクト株式会社です。 以前の土地所有者は、豊間根生産森林組合です。 豊間根生産森林組合は、管理する森林を売却したことにより、事業目的がなくなったことから解散しております。
川村委員	今回審議している林地開発地の近隣で、昨年審議した太陽光発電施設の開発計画があったと記憶しておりますが、位置的な関係と事業上の関連性がありますか。
事務局	昨年、審議していただいた近隣の林地開発計画の開発行為者はSun Station Hikari VI 合同会社です。場所は、宮古市と山田町の境で、今回審議している林地開発地の北側となります。 両者の関連性はございません。
猪内委員	造成森林について教えていただきたいのですが、樹高1m以上のアカマツを2000本植栽するとの説明でした。 これは、意見ですが、県内ではアカマツの材線虫被害が発生している状況であることから、抵抗性の苗木を植栽することかと思われますが、アカマツ以外の植栽についても、検討をしたほうがよいと思われます。
事務局	委員ご指摘のとおり、抵抗性アカマツの苗木をしようするよう、指導することとします。 また、樹高1mのアカマツは、販売されている苗木の一般的な規格ではないのですが、実際に植栽する段階で、苗木が入手できない場合は、樹種変更や、植栽本数の変更を開発行為者に指導し、確実に森林が造成されるようにしていきたいと思っております。
猪内委員	造成森林の計画においては、計画段階で次の世代に残していくような計画でなければならぬと思っております。

事務局	ただいま、猪内委員からご提言がありましたとおり、現地に合った樹種の設定、入手可能な苗木の規格への変更することや、もし、アカマツを植栽するのであれば、抵抗性アカマツの選定や山行苗の使用するのであれば、植栽本数1ヘクタール当たり4000本植栽を、開発行為者に指導していきたいと考えております。
下館林地保全部会長	山田町豊間根というところは、マツタケの産地ですから、そのような観点からアカマツを選定したかもしれません。 指導にあたっては、柔軟に対応をお願いします。
川村委員	山田町では、昨年審議した太陽光発電施設に係る林地開発計画がありましたし、今回も生産森林組合を解散してまで、太陽光発電施設に係る林地開発計画が申請されている状況であることから、この地区では、今後も太陽光発電施設に係る林地開発おこなわれていくのでしょうか。 現在の段階で、わかる範囲で開発計画があるのか、教えてください。
事務局	今のところ宮古地区で10haを超える林地開発計画の事前相談はありません。10ha以下の林地開発は、宮古と川井で2件、事前相談はありました。
佐藤委員	これまで、林地開発と災害を結びつけて考えておりましたが、必ずしもそうではないこと。 林地開発されたから災害が起こるとかという考えもたまにはあるかもしれませんが、そうとも限らないこと。 今回の現地調査で勉強させていただきました。
事務局	ただいま、佐藤委員からお話をいただいたとおり、県としても色々な基準に照らしてしっかりと、林地開発行為者を指導していくとともに、林地保全部会の委員の皆様からご意見をいただいて、それを反映させ、災害が起きないように秩序ある開発にさせていきたいと思っております。 委員の皆様には、様々な視点からご意見を賜りたいと思います。よろしく願い致します。
下館林地保全部会長	それでは、原案のとおりの内容で許可することについて、ご異議ございませんか。
委員全員	異議なし。
下館林地保全部会長	ご異議なしということから、原案のとおりの内容で許可するようお願い致します。ここで、事務局へお返しします。
事務局	本日は熱心なご審議をいただき、誠にありがとうございました。 これもちまして、平成29年度第1回岩手県森林審議会林地保全部会を閉会とさせていただきます。

## 平成 29 年度第 1 回岩手県森林審議会林地保全部会

日 時 : 平成 29 年 8 月 29 日 (火)

13 : 30 ~ 15 : 00

場 所 : アイーナ 会議室 501

### 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

10ha 未満の林地開発許可 (平成 29 年 2 月 14 日 ~ 平成 29 年 8 月 28 日) について

【資料 NO 1】

4 審議事項

(1) 気仙郡住田町世田米字大平地内の土石の採掘 (石灰岩) に係る林地開発許可について

【資料 NO 2】

(2) 下閉伊郡山田町豊間根第 11 地割地内の工場・事業場の設置 (太陽光発電施設) に係る林地開発許可について

【資料 NO 3】

5 閉 会

平成 29 年度第 1 回岩手県森林審議会林地保全部会出席者名簿

区 分	役 職 名	氏 名	摘 要
岩手県森林審議会 林地保全部会	部 会 長 委 員 委 員 委 員 委 員	下 舘 祥二 佐藤 礼子 川村 冬子 郷右近 勤 猪内 次郎	
有識者	富士大学 学 長	岡田 秀二	欠席
事 務 局 岩手県農林水産部 森 林 保 全 課	林務担当技監 総括課長 技術主幹兼保全 ・ 治山林道担当課長 主任主査 主任主査 主 査 主 査 (静岡県派遣) 主 査	阿部 義樹 漆原 隆一 田屋 了 佐々木 敏明 土野 恵美子 石 亀 竜太 石 橋 宣昭 白藤 清伸	
大船渡農林振興センター 宮古農林振興センター林務 室	森林保全課長 主任行政専門員 森林保全課長 林道整備総括主査	萩谷 義久 松田 一彦 菊池 伸裕 花田 茂彦	